

ライブ配信
 オンデマンド配信

道路分野における 生物多様性への貢献

開催内容

生物多様性（ネイチャーポジティブ）の実現は、持続可能な社会の実現に向けて重要なテーマであり、道路分野としても取組みが求められています。道路インフラに関わる皆様が、生物多様性について考え、実行するきっかけとなるよう、道路における考え方やこれまでの取組事例についてご講演いただきます。

プログラム

日程：8月6日(火) 13:15～15:15
 オンデマンド配信：8月9日～9月13日

▶ 生物多様性（ネイチャーポジティブ）の実現に向けた動きと道路におけるこれまでの取組み

講師：酒匂 一樹 国土交通省 道路局 環境安全・防災課 課長補佐



生物多様性施策や街路樹等の道路緑化、道路分野のカーボンニュートラル施策、歩行者利便増進道路制度等の環境施策を担当。

カーボンニュートラル、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミーの実現が持続可能な社会の実現に欠かせない。環境分野の世界的な潮流や道路分野での取組みを解説する。

▶ ネイチャーポジティブを実現する道路生態学とエコロードの技術

講師：亀山 章 東京農工大学 名誉教授



信州大学教授、東京農工大学教授を経て東京農工大学名誉教授。旧日本道路公団時代より高速道路の生物多様性保全についての各種委員会に参画して技術指導を行う。

道路建設における生物多様性への対応は、影響を少なくするミティゲーション（環境保全措置）の考えが主であったが、これからの時代はより積極的にネイチャーポジティブをめざす理論と技術の開発が求められている。

▶ 圏央道「もばら－どうぶつのはし」の維持管理の取組みについて

講師：板倉 義尚 東日本高速道路(株) 関東支社 市原管理事務所長



埼玉大学工学部卒。日本道路公団、日本高速道路保有・債務返済機構を経て、現在市原管理事務所長。これまで高速道路の管理や災害対策、SMHプロジェクト等に従事。

圏央道整備時に、動物の移動経路や生息地の分断を防ぐために作られたアニマル・オーバー・パス「もばら－どうぶつのはし」。開通から11年が経過した今、これまでの維持管理の取組みと今後の課題について紹介する。

申し込み方法

参加を希望される方は、当協会ホームページの参加申込フォームからお申し込みください。



■ 参加費
 日本道路協会
 会員 2,000円
 非会員 4,000円

講習会にご参加頂いた方には、今後のセミナー内容や開催方法等に関するニーズを把握するためのアンケート調査にご協力いただきますので、よろしくお願いいたします。

お知らせ

本セミナーは、土木学会CPD制度の認定セミナーとなっており、土木技術者の皆様の知識向上や自己研鑽の証跡となるCPD単位が取得可能です。